

竜王町における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 □放課後子ども教室 ■土曜日の教育支援

■ 目指す姿

地域学校協働本部と学校運営協議会の連携による人材育成と未来の学校づくり・地域づくり
(竜王町教育行政基本方針 P.18～19 より)

- ・地域学校協働本部が中心となり、各校園と連携し「地域とともに歩む学校園づくり」「学校園を核とした地域づくり」を促進する。
- ・地域と学校園が対等のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」をさらに発展させる。
- ・地域学校協働活動推進員が、各校園の学校運営協議会の委員に加わることで、地域学校協働本部との連携体制ならびに各運営協議会委員の情報共有を充実させる。
- ・ボランティアが「生きがい、やりがい」を感じるとともに、地域における人的ネットワークが広がることをめざした機会や場となるよう工夫する。
- ・子どもたちの「ふるさとを愛する心」を育むため、地域の方と学校が連携して竜王の自然や歴史に触れる「ふるさと学習」をさらに充実させる。

■ 本年度の具体的活動

地域学校協働本部

- ・毎月：地域学校協働活動推進員会議(定例会)の開催
- ・年2回：地域学校協働本部だよりの発行
- ・通年：学校園支援ボランティアの募集
- 地域未来塾：土曜龍王塾(雲龍塾・昇龍塾)の開講
- 土曜日の教育支援：各クラブでの活動(原則土曜日開催)
- 共通：ホームページや各種広報等を活用した情報の発信



【 地域学校協働本部 定例会 】

■ 本年度の力点

- ・学校園支援ボランティアの募集
- ・ここ数年積極的な広報活動等により、新規ボランティア登録者数および活動ボランティア数が増加傾向。次世代のリーダー人材の発掘と育成のため、引き続き注力する。

■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

【地域学校協働本部】

学校の支援依頼に対しボランティアを派遣しているが、自ら支援チームを組織し支援できる体制の構築までは至っていない。リーダー人材の発掘と育成が必要。また、ボランティア登録者数は年々増加しているが、支援内容により支援に協力できる人に偏りがある。学校支援依頼が届いてから派遣するまでの期間が短く調整に苦慮している。

【地域未来塾】

当該取組の継続に向け、指導者としての地域人材の確保が課題である。

【土曜日の教育支援】

講師の高齢化により事業を継続するには、講師の発掘を継続することが必要。クラブ活動内容のマンネリ化が進んでいる。

■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

地域学校協働活動推進員を4名委嘱。

■ 域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

町内の学校園全てに学校運営協議会を設置済。(こども園:1、小学校:2、中学校:1)